

Rubycon Engineering

創意、誠意、熱意の「3意主義」

ルビコンエンジニアリングは、コンデンサ製造用自動設備をはじめ、電子部品、医療機器、情報通信機器、自動車部品等の製造装置や各種自動省力機器を製造しています。

手がける製品ほぼすべてが、製品ジャンルごとに単一のお客様向けに特化したものです。各々の業界をリーディングカンパニーとして牽引するお客様のニーズを具現化し、そのビジネスを支援するのが私たちの使命です。これを果たすため、1963年（昭和38年）の創業以来当社は、創意、誠意、熱意の「3意主義」を基本理念としてきました。すなわち、不可能を可能にするための創意、アフターフォローまで綿密にケアする誠意、そして自らを理想へと導きさらにその上を目指す熱意です。

お客様の現場において省力・省人・スピード等で想定以上の成果を生む高品質な製品を、低コスト、短納期でご提供すべく、「ルビコンエンジニアリングらしさ」を貫いて参ります。今後とも御指導、御鞭撻をお願いいたします。

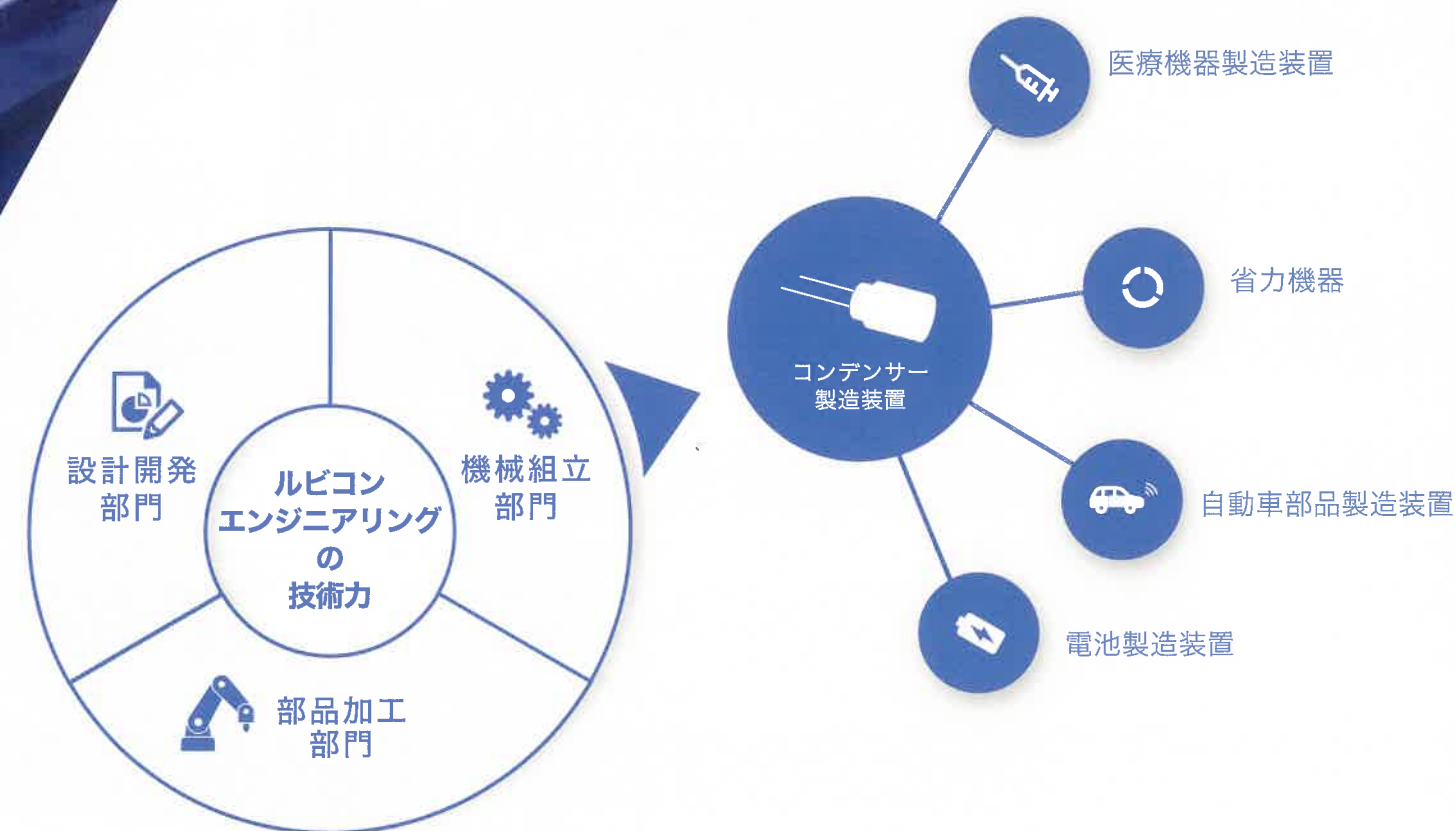
会社沿革

1963年10月	長野県伊那市大字伊那208にて有限会社信英機械製作所として創業 主として信英通信工業（株）の機械及び部品加工の製造を開始
1968年9月	規模拡大により長野県伊那市大字伊那部北河原5002地籍に工場を新築し移転、日本蓄電器工業（株）、 信英通信工業（株）のコンデンサ製造用各種機械を製造 株式会社信英機械製作所と称号改称
1971年10月	資本金400万円に増資
1974年2月	長野県伊那市大字福島488地籍に新しく用地3,900平方メートルを取得 生産の増大に伴い機械工場の新築
1974年9月	機械工場部門を新工場に移転
1975年5月	管理棟及び組立部門工場を新築、会社の全部門移転
1979年10月	資本金800万円に増資
1981年5月	組立工場、機械工場、外附属設備を増築、増設
1982年10月	資本金1,600万円に増資
1984年10月	資本金3,200万円に増資
1985年9月	組立専用工場新築、稼働開始
1988年5月	資本金9,600万円に増資
1988年12月	機械加工専用工場新築、稼働開始
1990年12月	ルビコンエンジニアリング株式会社と称号改称
1996年3月	伊那電子部品（協）より隣接土地、建物購入、組立工場に改装
1996年6月	技術部改装・CAD化をさらに推進
1998年7月	機械加工専用工場増築
1999年6月	ISO9002を取得
2000年12月	ISO9001を取得
2002年1月	ISO9001(2000年改訂版)を取得
2003年1月	ISO14001を取得
2004年12月	組立第二工場新築
2005年2月	ソーラー発電開始40Kw
2005年7月	ISO14001(2004年改訂版)を取得
2006年6月	製缶工場設置
2007年11月	組立第三工場を新築(1F組立工場、2F技術部設計室)
2008年2月	ソーラー発電を新規に120Kw、合計160Kwに増設
2008年8月	時計塔を設置、製缶工場を拡張
2011年11月	管理棟を新築。ソーラー発電を新規に40Kw、 合計200Kwに増強、年間使用電力の15%を賄う

TECHNOLOGY

コンデンサ製造装置を極めた ルビコンエンジニアリングだからできる各製造装置

ルビコンエンジニアリングは、特にコンデンサ製造装置に求められる捲回精度、スピード、製品を破損させない繊細な搬送の3つを磨いてきました。そこで必要とされる「巻き取る」技術とカム技術は、当社の技術力の核をなすものであり、他の自動省力機器にも生かされています。当社ではその技術力を存分に発揮し、お客様に喜ばれる高品質な製品を、低コスト、短納期でお届けするため、またお客様の機密保持を厳格に行うため、あらゆる自動省力機器に関わる設計開発、部品加工、組立の全部門をこの本社工場に集約し、一貫した生産体制をとっています。



設計開発部門

当社で製作する自動機械は、シンプル・イズ・ベストでユーザーフレンドリーな点が特長です。装置を提案をし、高速化、省スペース、耐久性、生産性といったご要望にコストをバランスさせたお客様のご要望を確実に具現化します。

部品加工部門

オーダーメイドの自動機械に求められる高度なQCDを実現するため、重要なファクターとなるのがパーツの自社加工です。NC工作機械、ワイヤ放電加工機をはじめとする大小のマシン群に経験豊かなオペレーターを配して、多様で高度なニーズにフレキシブルかつスピーディーに応じる体制を整えています。

機械組立部門

自動機械の骨格となるフレームに各種パーツや電気回路を組み込んで、お客様にお届けできる完成品の状態にします。お納めした設備が長年にわたって使用され、生産に寄与するものであるよう、機械全体の剛性を確保し故障のない強い設備にするとともに、電気・メカ双方の制御が狙い通りに働くよう入念な調整・テストを行います。

設計開発部門

新たな可能性を追い求める技術者集団

設計開発部門はルビコンエンジニアリングの頭脳です。スタッフは、蓄積されたノウハウと幅広い知識、そして無尽蔵に湧き出るアイデアを駆使しながら、顧客からの要望を具現化し、使いやすく、コストパフォーマンスに優れた個性的な自動機械にするために取り組んでおります。

当社で製作する自動機械は、シンプル・イズ・ベストでユーザーフレンドリーな点が特長です。装置を提案をし、高速化、省スペース、耐久性、生産性といったご要望にコストをバランスさせたお客様のご要望を確実に具現化します。

その際、同じ設備で複数品種の製品に対応できること、オペレーターにとってはワークのセット、取り出し、機種の変更が容易であること、生産管理者にとっては稼働状況等の情報を容易に把握できること、そして工場に搬入された際に他設備とスムーズに連携することを重視しています。

当社は、電解コンデンサの製造過程における捲回機を得意とし、またこの技術を活かしてリチウムイオン電池やニッケル水素電池の製造設備でも高い評価を得ています。これら装置では現在サーボモータが多用されていますが、設備の生産性を上げるうえでは装置タクトが重要であるため、当社ではカムや電子カムを効率的に使用し高速化を図っています。

近年の技術革新のスピードは一段と早くなり、又ニーズも多様化している中で、スタッフ一人ひとりが自己研鑽に努め、変化を先取りし、積極的に企画・提案しております。

コンデンサ生産設備からスタートした当社ですが、今日では電気・電子部品をはじめ、医療関係、情報通信関係、その他多くの分野に広がり、高い技術力の裏付けとなっております。



部品加工部門

システム化した生産体制でフレキシブルに対応

オーダーメイドの自動機械に求められる高度なQCDを実現するため、重要なファクターとなるのがパーツの自社加工です。NC工作機械、ワイヤ放電加工機をはじめとする大小のマシン群に経験豊かなオペレーターを配して、多様で高度なニーズにフレキシブルかつスピーディーに応じる体制を整えています。また、熟練の職人たちは旋盤、フライス盤など汎用機を駆使し、加工機から手に伝わる情報でパーツの硬さや歪みを感じ取ることで、最新の数値制御機でも不可能な精緻な加工をしています。

材質、熱処理、形状の異なる素材を要求通りのパーツに仕上げるためには、事前の加工検討を慎重に行うこと、そこで得た加工技術を財産として記録し次の加工技術に活かし続けることが必須になりますが、当社部品加工部門の強みもまさにここにあります。

私たちが得意とするのは、大型プレートや架台の製作です。巻芯製作にも力を入れています。また、当社で手がける設備のパーツ部品以外に加工部品の受注も承っています。

機械組立部門

コストパフォーマンスに優れた高生産性を実現

自動機械の骨格となるフレームに各種パーツや電気回路を組み込んで、お客様にお届けできる完成品の状態にします。お納めした設備が長年にわたって使用され、生産に寄与するものであるよう、機械全体の剛性を確保し故障のない強い設備にするとともに、電気・メカ双方の制御が狙い通りに働くよう入念な調整・テストを行います。

当社はコンデンサや電池の製造工程における捲回機を最も得意としますが、それ以外にもお客様ごとにオーダーメイドの自動機械を製作しています。どんな設備でも高い精度を実現できるのは、ノウハウの蓄積に基づく高い調整技術があるからです。設備製作の集大成を担う組立工程ゆえに、製作中も必要とあれば設計開発部門や部品加工部門と協議して改善を施し、粘り強く確実に精度をつくり込んでいきます。

また、組立時のデータは随時蓄積しているため、リピート機を製作する際にも機差のない設備が提供できます。



PRODUCT

実績紹介

コンデンサー製造装置

アルミ電解コンデンサーの製造工程において欠くことのできない巻取機、組立機、溶接機、チューピング機、検査装置といった自動省力化設備を設計・製作しています。

電池製造装置

コンデンサー製造装置の製作で培ったデリケートな素材を高精度に巻き取る技術を活かし、リチウムイオン電池などの電池を製造する自動化設備を手がけています。

医療機器製造装置

極めて精度の高い注射針の研磨加工機、点滴関連製品の製造装置など、医療機器の自動組立設備をつくっています。

自動車部品製造装置

自動車用センサーの組立装置や、アルミパイプの成形加工装置を手がけています。
お客様のノウハウに当社の自動化技術が融合することで、高い評価をいただいている分野です。

省力化・省人化装置

ロボットを使った搬送・組立装置で、工場の省力化・省人化を目的とした製品をラインナップします。太陽電池モジュールの素材など破損しやすい製品の搬送装置をはじめ、装置はすべて完全オーダーメイドで、お客様にとってオンリーワンの設備です。

保有設備

機械設計課 使用CAD	メカCAD(2D):CreoElements/DirectDrafting(PTC) メカCAD(3D):CreoElements/DirectModeling(PTC)、i-cad sx(富士通)
電気設計課 対応可能PLC	三菱、OMRON、KEYENCE 三菱多軸モーションコントロール制御系を得意としています

立型マシニングセンター	安田工業	YBM-8120	1	800×1200	CNC-ジグボーラー 2パレット
	旧日立精機	VK65 II	1	1600×700	
	旧日立精機	VS60	2	1250×610	
	旧日立精機	VS50	1	1000×510	
	浜井産業	5VA	2	1050×560	
	芝浦機械	VMC-550	1	1100×550	
	オークマ	MB-66VA	1	1530×660	2021年導入
横型マシニングセンター	安田工業	YBM-80N	1	800×900	630×630パレット 4パレット
	エンシュウ	HMC-40	2	400×400	360×360パレット 10パレット
	DMG森精機	NHX500	1	730×730	2021年導入 500×500 2パレット
門型マシニングセンター	新日本工機	RB-2N	1	2850×1700	門幅1500
五面加工機	新日本工機	RB-2NM	1	2750×2000	門幅1700
	芝浦機械	MPE2140	2	4500×2900	門幅2100
平面研削盤	岡本工作機械	PSG106CA-1	1	1200×653	
	岡本工作機械	PSG-52BN	1	200×550	
	長島精工	NP520-F	1	650×230	
	日興機械	NSG520HD	1	200×500	
複合旋盤	旧日立精機	HI-CELL CA30	2	φ305×600	
N C 旋盤	旧日立精機	NR20 III	1	φ340×380	
円筒研削盤	シギヤ精機	GPH-30B	1	φ300×750	
ツールプリセッター	日研工作所	E460N-50	1		2020年導入
CAD/CAM	タクテックス	WinMax	4	2D 2.5D	
	キャムタス	Speedy mill Next	1	3D	
	コダマコーポレーション	TopSolid7	1	3D	
	Autodesk	FeatureCAM	1	3D	2021年導入
	アルム	ARUM Code1	1	3D 自動化 A I	2021年導入
ワイヤーカット	ソディック	AG400L	1	400×300	
	ソディック	ALN600G	1	600×400	2021年導入
	ソディック	A500W	1	350×500	
	ソディック	A500	1	350×500	
	ソディック	A350	2	250×350	
細穴放電加工機	ソディック	K1CN	1	300×400	
エアロラップ	日本スピードショア	YT-300	1		2021年導入
汎用立型フライス盤	遠州、牧野、豊和、山崎		9		
汎用横型フライス盤	遠州、豊和		3		
万能フライス盤	新潟鉄工	3UM	1	420×1000	
汎用旋盤	滝澤鉄工	TAC650	1	φ650×2000	
	滝澤鉄工	TAL560	1	φ720×1000	
	森精機	MS850	1	φ440×850	
	ワシノ機械	LPT-35C	1	φ210×550	
	他		5		
溶接機	ダイヘン	DA-300P (S-1)	2		T I G 溶接機
	松下溶接システム	YC306 TDK-7	1		T I G 溶接機
	松下溶接システム	YD-200AA1	1		CO2/MAG自動溶接機
	松下溶接システム	YD-350GE2	3		CO2/MAG自動溶接機
	松下溶接システム	AWL-180 YK-186	1		アーク溶接機
タッピングボール盤	KIRA、日立工機		13		
ボール盤	KIRA、ASHINA		7		
コンターマシン	アンドソー	TA-400L	1		
	他		2		
スロッター	宝機械	TK-80	1		
	他		1		
帯鋸切断機	津根精機	TB4-262GN	1		
シャーリング	相澤鉄工	1604P	1		

グループ会社

ルビコン株式会社

〒399-4593 長野県伊那市西箕輪1938-1
TEL 0265-72-7111 FAX 0265-73-2914

福島事業所

〒964-0201 福島県二本松市戸沢字六角11
TEL 0243-46-2136 FAX 0243-46-2126

秋田事業所

〒015-0221 秋田県由利本荘市東由利館合字上の代1-1
TEL:0184-69-3131 FAX:0184-69-2423

ますみヶ丘事業所

〒396-0027 長野県伊那市ますみヶ丘6982-1
TEL:0265-73-6777 FAX:0265-73-6780

ルビコン電子株式会社

〒399-3303 長野県下伊那郡松川町元大島2932
TEL:0265-36-3311 FAX:0265-36-5001

新潟事業所

〒944-0002 新潟県妙高市広島1丁目3-1
TEL:0255-72-5160 FAX:0255-72-9320

信英蓄電器箔株式会社

〒399-4589 長野県上伊那郡南箕輪村3930
TEL:0265-78-2193 FAX:0265-78-6481

ルビコンシンガポール株式会社

2 Jurong East Street 21, IMM Building, #05-36,
SINGAPORE 609601
TEL:65-6472-2466 FAX:65-6479-0241

ルビコンアメリカ株式会社

4293 Lee Avenue, Gurnee IL, 60031, USA.
TEL:1-847-249-3450 FAX:1-847-578-1300

ルビコンコリア株式会社

Leaders Tower 301, #60-15 Kasan-Dong,
Kumcheon-ku, Seoul, KOREA
TEL:82-02-855-8127 FAX:82-02-855-8128

ルビコンインターナショナル(上海)株式会社

Room 1307, New Town Center, No.83, Lou Shan Guan Road
Shanghai, CHINA
TEL:86-021-6236-9786 FAX:86-021-6236-8266

ルビコンインターナショナル(上海)株式会社 重慶事務所

Room 09, Floor 18, Block A, Shinkansen Building, No.55,
Chongqing Village, Yuzhong District, Chongqing, CHINA

ルビコンインドネシア株式会社

Lot 224, Jalan Gaharu, Batamindo Industrial Park,
Mukakuning, Batam 29433 Indonesia
TEL:0770-611-412 FAX:0770-611-435

登内時計記念博物館

〒399-4501 長野県伊那市西箕輪1938-88
TEL:0265-72-2500 FAX:0265-72-1051

会社概要

創	立	1963年10月23日
資	本	金 9600万円
代	表	者 代表取締役社長 宮原 章
所	在	地 〒396-0001 長野県伊那市福島488 TEL 0265-73-8111
		総務部・営業部 TEL 0265-73-8111 FAX 0265-73-3796
		工務課・計画課・加工課 TEL 0265-73-8112 FAX 0265-73-8123
		技術部 TEL 0265-73-8113 FAX 0265-74-1206
		組立課 TEL 0265-73-8114 FAX 0265-73-8156
敷	地	30,535㎡
建	物	事務棟及び管理棟 1,857㎡ 工場及び付属建物 12,604㎡
従	業	員 数 146名(男131名 女15名)
		技術部機械設計課:20名・技術部電気設計課:17名/製造二部 組立課メカ:28名/製造二部 組立課電気:20名
平	均	年 齢 40.0歳
事	業	内 容 コンデンサ製造用自動設備/電池製造用自動設備/自動車部品製造用自動設備/その他各種 自動化・省力化設備の設計・製造・販売
主	要	納 入 先 ルビコン株式会社及び関連グループ会社、パナソニック株式会社及び関連グループ会社、 セイコーエプソン株式会社及び関連グループ会社、株式会社デンソー及び関連グループ会社、 テルモ株式会社、多摩川精機株式会社、その他
売	上	高 31億円(2021年9月決算見込)

アクセス



